



すいた市議会だより

No. 345

9月定例会号

編集：議会広報委員会 発行：吹田市議会 ©吹田市泉町1丁目3番40号 ©電話06(6384)2663/FAX06(6338)0920

◎市議会のホームページは [吹田市議会](https://www.city.suita.osaka.jp/shigikai/index.html) [検索](#)
(<https://www.city.suita.osaka.jp/shigikai/index.html>)

◎本会議のインターネット放映(生中継・録画放映)を実施しています。
市議会ホームページの「議会中継(インターネット)」からぜひご覧ください。



市議会
ホームページ



議会中継

放課後児童健全育成事業

関連予算等を可決

9月3日から10月1日までの会期で9月定例会を開きました。本定例会では、(一財)吹田市介護老人保健施設事業団への運営費負担金や、私立幼稚園・認定こども園における放課後児童

健全育成事業実施に伴う改修補助金総合運動場などの指定管理業務に係る債務負担行為の限度額引き上げ等を計上した一般会計補正予算(第2号)など、38件の議案が市長から提出



私立幼稚園・認定こども園での実施を予定している
放課後児童健全育成事業の様子

されました。

なお、一般会計補正予算(第2号)については、本会議で議員から修正案および附帯決議案が提出され、修正案の可決後に修正部分を除く原案を可決し、附帯決議案も可決しました。

また、市長提出議案のうち、令和6年(2024年)度の一般会計と8特別会計および水道・下水道事業の決算認定等は決算常任委員会に付託し、継続審査とすることにしました。なお、これらを除くその他の議案は、すべて議決等を行いました。

このほか、議員からは、意見書案など計7件(附帯決議案除く)の市会議案が提出されました。(委員会での審査内容の一部は8～10面に、議決結果等は14、15面に掲載)

主な掲載内容

9月定例会の概要	1
代表質問・質問(個人質問)	2～7
常任委員会の審査から	8～10
請願	11
議会の舞台裏	12、13
議決結果	14、15
議会日誌、意見書等	16

代表質問・質問について

9月10日、11日、12日、16日の4日間で32人の議員が代表質問、質問(個人質問)を行いました。その一部を質問順にお伝えします。(表記方法は会派の意向を尊重しています。また、記事の内容は本定例会の代表質問・質問(個人質問)時点のものです。)

詳細な内容は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。

代 表 質 問

本定例会では5会派が代表質問を行いました。



医療機関への物価高騰対策を

問 物価高騰に伴う医療機関の経営悪化により、市民が医療を受ける環境が脅かされている。医療提供体制の維持に向けて、市としてスピード感を持って取り組むべきではないか。

答 医療提供体制の確保は都道府県の役割だが、保健所設置市として持続可能な体制の構築に努めていく。

答市長 消費税の持ち出し等病院の厳しい経営状況を把握し、市にできる効果的な取り組みを講じていく。

介護老人保健施設への負担金

問 吹田市介護老人保健施設に対する9000万円の負担金について、計上の経緯と使途を具体的に示せ。

答 入所率の低下や物価高騰で経営状況が急激に悪化した。令和7年度のサービス維持のため職員人件費や施設管理料、光熱水費等を補填する。

問 他の事業者も同じ環境だが、市の負担金はない。今後の同施設の在り方を早急に検討すべきではないか。

答 同施設の経営は年々厳しくなっているため、早急に検討していく。



複合化で進める公民館整備

問 公民館は老朽化や管理運営のコスト増大が課題であり、複合化による効率化やサービス向上が求められる。市民センターや図書館等を一体的に整備することで公民館機能の強化が可能と考えるが、公民館の位置づけを踏まえた市長の考えを問う。

答市長 公民館は市民の教養向上を目的に設置され、現在は市民センター等と同様に地域交流の場も担っている。今後も柔軟な運営を通じて、複合的な機能を持つ施設を目指す。

庁舎内の電波環境の改善を

問 スマートフォンが市民生活で欠かせないものとなる中、本庁舎や公共施設の電波が不安定だと手続きの停滞や災害時の通信障害に直結する。本庁舎1階マイナナンバー窓口付近の電波状況が悪いと感じるが、現状把握の有無と早期改善への見解を問う。

答 当該箇所については職員による調査によつて一部の電波が弱いことを把握している。今後、通信事業者へ電波状況の改善を早期に要望する。



ファミリーシップ制度の導入を

問 2023年のパートナーシップ宣誓制度導入から2年たつが周知に課題がある。啓発を積極的に行い、同制度の宣誓者一人とその子や親等も家族として宣誓の対象とし、多様な家族の在り方を尊重する「ファミリーシップ制度」に拡充してはどうか。

答 御提案の制度導入に向け国や他市の動向を注視しており、パートナーシップ宣誓制度の宣誓者をはじめ関係者の意見を聞き、検討していく。

補聴器購入補助制度の創設を

問 難聴はコミュニケーションや安全で生活に悪影響を及ぼし、認知症リスクを高めるとも言われている。補聴器の使用がこれらの改善に非常に有効であるが、補聴器購入を市独自で補助する制度が必要ではないか。

答 補聴器購入補助については居住地域による格差のない制度創設を国や大阪府に要望している。市としては加齢性難聴の早期受診の必要性や適切な補聴器使用の啓発を継続し、先行する他市の事例を注視していく。



大阪維新の会
林 恭広

介護老人保健施設事業団の今後

問 市は外郭団体である介護老人保健施設事業団の運営費として9000万円の支出を予定している。公費投入前に徹底した運営の改善努力と仕組みの是正が必要と考えるが、事業団の現状と今後の方向性について理事長でもある副市長の見解を問う。

答副市長 ニーズの低下やコロナ禍による経営悪化、大規模改修の必要性を踏まえ、利用者への適切なサービス確保を前提に、今後の在り方を検討する時期にあると認識している。

財政危機に対する市長の姿勢は

問 市政については方針に掲げる指標値とかい離し悪化している。市長は民間企業の経営危機対応で見られる役員報酬減額等を参考に、事業見直しや補助金の在り方の再検討等に取り組む覚悟を示すべきでないか。

答市長 民間企業のイレギュラーなアピール手法ではなく、立場や使命が異なる自治体の経営者として、事業の根拠を明確に説明できるよう、行政改革を進め、市民に示していく。



自民党吹田・無所属の会
藤木 栄亮

二十歳を祝う式典について

問 毎年好評の保護者、親族席の設置を今年度も希望すると同時に新成人が喜ぶゲストの出演を要望する。

答 初年度の令和5年度は800人、昨年度は1100人の参加があった。現在、実行委員会でも前向きな協議がされている。ゲストの出演については多くの式典対象者に喜ばれるような選定がなされるものと考えている。

学校徴収金について

問 教育委員会は教材や校外学習の費用を保護者から集めているが、未納者分の業者への支払いを繰越金から拠出している。繰越金を未納分に補填している会計処理は、明らかな目的外流用だ。善良な保護者に無断で未納者の肩代わりをさせている教育委員会の事務執行は悪質であることから、早急に公会計にするべきだ。

答副市長 学校徴収金については、一括徴収の開始後、さまざまな課題が生じており、透明性確保の観点からも、速やかに公会計へ移行することが適切であると認識をしている。

会派の構成

※会派名については略称で表記しています。
※会派内の順序は議席番号順（10月16日現在）

大阪維新の会(10人)

後藤久美子 川田 尚
江口礼四郎 清水 亮佑
今西 洋治 林 恭広
橋本 潤 乾 詮
高村 将敏 井口 直美

日本共産党(7人)

益田 洋平 玉井美樹子
山根 建人 村口久美子
竹村 博之 塩見みゆき
柿原 真生

公明 党(5人)

浜川 剛 井上真佐美
野田 泰弘 矢野伸一郎
小北 一美

自民党吹田・無所属の会(5人)

澤田 直己 白石 透
有澤 由真 泉井 智弘
藤木 栄亮

吹田党・参政党(3人)

石川 勝 後藤 恭平
中西 勇太

市民と歩む議員の会(2人)

梶川 文代 五十川有香

立憲民主党(1人)

西岡 友和

参政党(1人)

久保 直子

※令和7年10月16日付けで、会派「吹田党」は「吹田党・参政党」に名称を変更しました。

質問（個人質問）

本定例会では27人の議員が質問（個人質問）を行いました。



大阪維新の会
今西 洋治

ごみの減量と食品ロスの削減を

問 プラスチックを含むごみの減量や食品ロス削減のため、市ではどのような取り組みをしているか。また、いま一度、賞味期限と消費期限の違いに関する知識を啓発してどうか。

答 公共施設へのマイボトル用給水機の設置やフードドライブの実施等に取り組んでいる。賞味期限と消費期限の違いについては、ホームページやイベントで周知、啓発している。



日本共産党
益田 洋平

万博記念公園駅前周辺地区
活性化事業の審査の在り方

問 大阪府の万博記念公園駅前周辺地区活性化事業に関し、保留地の計画が不明確なため環境影響評価審査会で交通対策の妥当性を判断できないとの意見がある。計画が明確になってから手続きを行うべきでないか。

答 同審査会での意見に対しては、今後事業者から回答があり、適正に審査されていくものと認識している。



朝日党
後藤 恭平

水道事業に交付税の活用検討を

問 水道事業は独立採算が原則だが、経費によっては一般会計からの繰り出しが認められる。国の通知で、基準どおりに実施すれば地方交付税の対象になると記載があるが、財政上有利になる場合もあるのではないか。

答 基準内繰り出しにより起債元利償還金の2分の1が交付税措置の対象となる。財源確保の有効な手段として関係部署と協議を重ねている。



自民党吹田・無所属の会
白石 透

防災力強化に向けた市の在り方

問 災害の未然防止や発生時の迅速な対応は重要である。他市での衛星による漏水調査や道路陥没事故からの迅速な復旧事例があるが、本市の防災対策への在り方を副市長に問う。

答副市長 漏水、道路陥没等の災害の予防と非常事態への迅速な対応の重要性は認識している。技術職員の確保と技術力向上に注力し、安全・安心なまちづくりに取り組んでいく。



大阪維新の会
後藤 久美子

持続可能な学童保育の検討は

問 学童保育は不可欠な支援だが経費増が続ぎ、令和12年度には31億円に達する見込みである。歳出増に偏らない持続可能な制度設計を検討する考えがあるか。市長の見解を問う。

答 従前どおり受け入れに努めつつ、実情に応じた見直しも検討していく。

答市長 社会状況に対応し、なるべく後手に回らないよう、子どもたちの居場所づくりに取り組んでいく。



大阪維新の会
江口 礼四郎

ネットの危険から子どもを守る

問 SNSの危険性から子どもを守るには、学校だけでなく保護者や地域社会を含む総合的なネットリテラシー向上策が必要である。市主導で保護者向け研修会や家庭用ガイドラインの提供等を実施すべきでないか。

答教育長 学校、家庭、地域の協力での取り組みの深化が必要と認識しており、ネットリテラシー向上を図る仕組みづくりの情報収集に努める。



日本共産党
竹村 博之

紫金山公園の再整備について

問 紫金山公園の再整備に係る目指すべき姿案について、市民意見募集の集約結果、これまでの取り組み状況および今後のスケジュールを示せ。

答 意見は34通156件である。2023年度から二丁調査等を行い、2025年度は新たな社会実験を行う予定である。2026年度に指定管理者の公募、2027年度から管理運営開始を目標に取り組んでいる。



日本共産党
塩見みゆき

小児慢性特定疾病の助成拡大を

問 小児慢性特定疾病について、難病に移行できず20歳を迎えて助成対象外となる事例がある。多額の負担が発生するが、子ども医療費助成制度の範囲を拡大し助成できないか。

答 適切な医療を受けられる環境整備は国策として実施されるべきであり、本市独自の助成制度は検討していない。成人後の経済的負担軽減に必要な支援策を今後も国に要望する。



立憲民主党
西岡友和

高齢者のデジタル格差解消を

問 デジタル政策推進のうえで、デジタルデバйд解消と高齢者支援は重要課題である。令和5年度実施のスマホ講座の実績を踏まえ、今後の高齢者向け支援事業の方針を問う。

答 同講座は令和6年度以降未実施であるがニーズの高さは認識している。今後も市民が安心・安全にデジタルサービスを利用できるよう、関係部局と連携して積極的に取り組む。



大阪維新の会
清水亮佑

障がい児巡回支援の体制強化を

問 障がい児巡回支援では、多様な発達特性に早期対応し、現場の保育士を支える体制づくりが重要である。言語聴覚士などの専門職によるチームを編成し、保育士との連携を強化することについて、市の所見を問う。

答 令和8年度から、希望するすべての児童を対象に、言語聴覚士や作業療法士などの専門職を加えた巡回支援を実施し、相談体制を強化する。



日本共産党
山根建人

公園再整備に市民意見の反映を

問 指定管理者による中の島公園のグラウンド等の工事が始まる。市民意見を丁寧な反映する努力を行うとともに、反映の場である公園協議会を早急に設置するべきではないか。

答 既存樹木の保存等の軽微な変更は反映可能か現場を見て判断し、今後は管理運営の中で意見を聞くよう指定管理者と協議する。協議会は2025年度中の設置を目指している。



自民党吹田・無所属の会
泉井智弘

障がい者作業所の明け渡し拒否

問 市は市所有建物内で障がい者作業所を運営するさつき福祉会に対し、契約が終了する令和5年3月から2年の猶予を設けるなど配慮して建物の明け渡しを要求した。現在も不法占拠状態にあるが、市の見解を問う。

答 2年の猶予期間後も明け渡しの義務が無いと主張して施設の使用を継続し、再三の明け渡し通告にも応じない同法人の姿勢は遺憾である。



公明党
小北一美

開発事業者に指針を遵守させよ

問 佐竹台地区で、千里ニュータウンまづくり指針に定める容積率150%を超過した199.5%での開発計画が進んでいる。住環境の悪化が懸念されるが、事業者に対し指導や是正措置を講じるべきでないか。

答 当該事業者には、同指針を遵守するよう繰り返し求めてきた。同指針に法的拘束力はないが、今後もあらゆる機会です協力を強く求めていく。

市議会ホームページから会議録の検索、閲覧ができます

パソコン、スマートフォン等で、議会の会議録(本会議録、委員会記録)をご覧になれます。なお、正式な会議録が作成されるまでの間、速報版を掲載しています。(速報版は、本会議最終日(討論・採決)から約3週間後に掲載し、正式な会議録を会議録検索システムに掲載した時点で削除します。)



市議会
ホームページ



公明党
濱川 剛

AYA世代のがん終末期支援を

問 15歳から39歳までのAYA世代のがん患者は、発達やライフイベントへの影響等、世代特有の困難に対する多様な支援が必要である。特に終末期支援は重要であり、取り組むべきと考えるが、市の見解を問う。

答 当がん患者は各種施策のほごまにある。患者が家族と有意義な終末期を過ごせるよう検討を進め、支援制度構築を国や大阪府へ要望する。



市民と歩む議員の会
五十川 有香

高齢者や妊産婦への移動支援を

問 高槻市などの他市事例を参考に、高齢者や妊産婦の移動支援にも資するよう本市独自の交通政策を関係部局が連携して検討してはどうか。

答 高齢者への新たな移動支援は多額の財源を要し、現時点では困難である。効果的な事業を見極めていく。
答 妊産婦向けに経済的・身体的・精神的負担軽減支援を並行して実施しており、新たな支援は困難である。



大阪維新の会
川田 尚

費用面から見る自治体DX

問 自治体DXの目的が市民サービス向上や業務効率化であることは理解しているが、推進にはさまざまな費用がかかる。費用面での効果検証も重要と考えるが、市の見解を問う。

答 各所管の取り組みにおいて費用面をより意識したうえで、責任を持つて取り組むよう働きかける。また、DX全体の達成度は、市民アンケート等も含め、評価、検証していく。



参政党
久保 直子

米の産地との農業連携協定で物価高騰下での食料確保をせよ

問 令和の米騒動は、政府による長年の減反政策により生じた。農家の高齢化と跡継ぎ不足に歯止めをかけ、我が国の第一次産業を守り市民の食料確保のため市のできることは何か。
答 生産者と消費者をつなぐ産直は一定の効果がある。第一次産業を支えるにはどのような方法があるか、今回の米問題を機に考えたい。



自民党吹田・無所属の会
澤田 直己

JR吹田駅前一等地の活用を

問 JR吹田駅南側駐車場跡地は駅前一等地である。経済活性化の観点から保育所だけでなく、さんくすびルの市機能も複合化した施設を建設し再整備の契機とすべきでないか。

答 同跡地は持続的な地域活性化のための活用策を検討中である。同駅周辺の再整備はまちづくりアドバイザー派遣制度等を活用し、吹田市開発ビル株式会社を中心に進める。



公明党
井上 真佐美

避難所としての学校の維持管理

問 学校施設は、災害時の避難所としても機能するよう、計画的で適切な維持管理を行うべきである。古い給水管の更新、耐震化は喫緊の課題だと考えるが、教育長の見解を問う。

答 災害時の学校の役割については御指摘のとおりであり、災害が増加している近年において、その重要性は高まっている。今後も、学校施設の適切な維持管理に努めていく。



市民と歩む議員の会
梶川 文代

エッセンシャルワーカー支援を

問 人材確保や離職防止に向け、熱中症対策の実施、家賃補助や就学支援の対象拡大、現場の実態に即した加算など、市独自の支援策を講じよ。

答 事業者との懇談会で得た課題の解消に資する取り組みを研究する。
答 研修や相談により職場環境改善を支援している。事業者は福祉の重要な担い手であり、国へ抜本的な改善を要望し、市独自支援も検討する。



大阪維新の会
乾 詮

財政状況悪化に対する危機感

問 物価上昇等による財政調整基金繰り入れの増加等で令和6年度決算で財政状況の悪化が見込まれる。危機感の有無について両副市長に問う。

答 非常に悪いわけではなく、備えが必要との認識である。捉え方によるが危機感は現状持っていない。
答 財政健全化に取り組む必要があり、危機感というよりもこのままではいけないの思いである。



日本共産党
柿原 真生

「外国人優遇」の実態と市の役割

問 SNS上で見られる「外国人優遇」について本市の実態はどうか。背景には長期化する物価高などによる生活苦があり、住民福祉の増進という市の役割を積極的に果たすことが求められる。市長の見解を問う。

答市長 市の手続きでそのような実態はない。多文化共生を維持するためにも、市としても今後さらに福祉を安定させる重要性を感じている。



自民党吹田・無所属の会
有澤 由真

消防カレーでプロモーションを

問 消防本部のSNSを活用した広報が全国的に注目を集めている。さらなるPRとして、おいしいと評判だった当直の賄いカレーの商品化を進めてはどうか。市長の見解を問う。

答市長 商品化は考えていないが、本業を基本としつつ、職員が多様な取り組みを自主的に実行できる雰囲気や人権を大切にする働きやすい職場づくりにつながればうれしく思う。



吹田 党
中西 勇太

病院における面会制限の課題

問 面会制限は感染対策への有効性に十分な根拠が無く、患者の認知機能低下等の悪影響が報告されている。面会機会の回復に向けて、市民病院が主導できるよう支援してはどうか。

答 悪影響の緩和は各病院が主体的に取り組むべき課題であるが、立ち入り検査の機会に他病院の取り組みの情報提供等を行うことで支援する。



大阪維新の会
井口 直美

性犯罪防止に向けた対策強化を

問 児童への性犯罪は再犯率が高く、被害者の半数以上が誰にも相談しない。わいせつ行為を行った教員等の厳正な処分と再発防止、学校での相談体制強化が重要だが、現状を問う。

答 国のデータベースを活用し、教職員等の採用時に児童への性犯罪歴を確認している。被害の訴えがあれば、必要に応じてスクールカウンセラーを活用し、適切に対応している。



大阪維新の会
橋本 潤

外郭団体の運営費支出の妥当性

問 市は介護老人保健施設事業団の運営費として9000万円を支出しようとしている。市民に財政負担をかけず、運営や財務状況を確認し、対応すべきと考えるが、所見を問う。

答 外郭団体が健全な経営基盤で必要な事業を安定的に運営しているか市が確認するプロセスは重要である。今回の事業を踏まえ、所管部局と調整しながら必要な検討を進めていく。



大阪維新の会
高村 将敏

共同親権を見据えた学校対応を

問 共同親権に係る改正民法の施行に伴い、父母双方の学校行事参加と子どもの権利・安全、学校現場の安心のいずれをも確保する必要がある。市が統一的な基準等を整備し、学校を支える方針を示すべきではないか。

答教育長 学校が共同親権の法解釈を正しく理解し、法が示す子どもの利益を確実に担保できるよう、校長指導連絡会等での周知に努めていく。

本会議等のインターネット放映を実施しています

より多くの市民へ開かれた議会を目指すため、本会議や予算常任委員会(全体会)等のインターネット放映を実施しています。インターネット放映は、パソコンのほか、スマートフォン等の携帯端末からでも視聴できます。

市議会ホームページの「議会中継(インターネット)」からアクセスして、ぜひご覧ください。



議会中継



常任委員会の審査から

※分科会や委員会の質疑内容等は、委員会記録をご覧ください。また、本会議での賛否の状況は、14、15面の議決結果をご覧ください。
なお、文教市民、健康福祉常任委員会には付託案件はありませんでした。

付託案件

議案第83号 一般会計補正予算(第2号)

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団への運営費負担金の支出など1億350万円の増額補正のほか、
債務負担行為補正として、旧西尾家住宅保存修理・耐震対策第1期工事を追加、武道館および総合運動場指定管理業務の限度額変更
(債務負担行為補正の一部は9面に詳細を掲載)

議案第85号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

過年度保険料に係る過誤納還付金の追加に伴う経費400万円の増額

予算常任委員会には予算案2件が付託されました。
付託案件および主な審査内容・結果は、次のとおりです。

予算常任委員会
〔審査案件〕
予算関係の議案

議案第83号 一般会計補正予算(第2号)



〈主な内容〉

○介護保険施設管理事業

9,000万円

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団への運営費負担金



吹田市介護老人保健施設

○高齢者施策推進事業

850万円

介護保険事業所によるケアプランデータ連携システム活用に係る奨励金および事業周知に係る委託料

○留守家庭児童育成室運営事業

500万円

私立幼稚園・認定こども園における放課後児童健全育成事業の実施に伴う改修補助金

〈賛成意見の概要〉

○ケアプランデータ連携システム活用に係る奨励金について、事業所の実情やデータ連携によって発生する持続的なコストも考慮した施策の検討を求める。介護老人保健施設については他市や専門的知見を参考に、運営の在り方等を熟慮することを求める。私立幼稚園等での留守家庭児童育成室開設への補助事業については、開設に尽力された幼稚園に敬意を表し、市には交付金の適切かつ効果的な運用を求める。

〈その他の意見の概要〉

○武道館および総合運動場の指定管理業務に係る増額は、適正性の説明が不十分であり、現時点で賛否を判断できない。介護老人保健施設事業団への支出も同様であり、今後の運営見通しが示されない限り市民負担を伴う支出として容認できない。市としての社会的責任を踏まえ、施設の在り方を含めた計画を早急に検討し、持続可能な財政運営への対応を行ったうえで判断すべきであるため、本委員会では退席する。

議案第85号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)



〈主な内容〉

○被保険者保険料還付事業

400万円

過年度保険料に係る過誤納還付金の追加



〈賛成意見の概要〉

○分科会質疑において、当初予算の算定根拠を見直し、請求率等に基づいた積算方法に改善するとの答弁があったことから、請求事務に携わる職員の意識なども含めて実態に即した予算となるよう求め、賛成する。

議案第83号 一般会計補正予算(第2号)

総合運動場指定管理業務の限度額変更に対する修正案を提出

本定例会で予算常任委員会に付託された一般会計補正予算(第2号)では、令和7年(2025年)度から令和12年(2030年)度までの債務負担行為の変更として、「総合運動場指定管理業務の債務負担行為限度額を482,123千円から566,014千円に変更する」原案が市長から提出され、原案に対し「限度額を566,014千円ではなく、553,689千円に変更する」修正案が3人の議員から提出されました。

原案は、総合運動場の指定管理者公募の結果、応募が無かったことから、限度額を変更し再公募を行うためのものであり、修正案は、同様の内容で提案されている他施設との金額差を考慮し、増額幅を抑えるものとなっていました。

審議の結果、修正案を賛成多数で可決したうえで、修正部分を除く原案を全員賛成で可決しました。

教えて！議会のこと 「債務負担行為」ってなんだろう？

自治体の予算は単年度で完結するのが原則ですが、自治体の業務においては、大規模な工事や指定管理業務など、単年度では完結しない複数年度にわたる業務も数多く存在しています。このような業務の契約を行うためには、次年度以降の予算の根拠が必要となることから、あらかじめ債務を約束することを歳出予算とは別に予算で決めなければならないとされています(地方自治法第214条)。それが、債務負担行為です。

予算常任委員会では、当年度や次年度の単年度の予算に加え、債務負担行為のような複数年度にわたる予算も含めて審査を行います。

付託案件

議案第84号 公用車の交通事故に係る損害賠償額の決定

財政総務常任委員会には単行事件1件が付託されました。
付託案件および主な審査内容・結果は、次のとおりです。

財政総務常任委員会
〔審査分野〕
防犯・防災、消防、行財政など

議案第84号 公用車の交通事故に係る損害賠償額の決定

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 相手方が借用されたレンタカーの車種やその期間
- 選挙事務における時間外勤務削減の取り組み
- 時間外勤務が続く職員の業務分担を見直すなど、適切な管理体制を構築する必要性

付託案件

議案第77号 資源循環エネルギーセンター基幹的設備機能回復工事請負契約の締結

資源循環エネルギーセンター基幹的設備機能回復工事について、149億1,600万円で請負契約を締結するものです。

建設環境常任委員会には単行事件1件が付託されました。
付託案件および主な審査内容・結果は、次のとおりです。

建設環境常任委員会
〔審査分野〕
道路、公園、水道、環境など

議案第77号 資源循環エネルギーセンター基幹的設備機能回復工事請負契約の締結

全員賛成で
承認

〈主な質疑項目〉

- 随意契約とする理由
- 本工事と同規模の工事を施工可能な事業者数
- 灰溶融炉を稼働する自治体が減少傾向にある中で、工事を実施する理由
- 技術革新を踏まえ、既存設備の設置者以外の事業者による整備を検討する必要性
- 物価高騰等による請負金額の変更の見込み



資源循環エネルギーセンター

～ 請 願 ～

市民から提出された次の請願 1 件を採択しました。(請願の内容を要約して掲載しています。全文は市議会ホームページをご覧ください。)



採択した
請願

○(仮称)吹田市佐竹台計画に関する請願

令和 7 年(2025 年) 7 月 13 日、佐竹台 4 丁目 114 番 264 におけるマンション新築計画((仮称)吹田市佐竹台計画)について、事業者による近隣住民説明会に参加しました。当該地は「千里ニュータウンのまちづくり指針」により容積率 150% 以下を標準とすると定められていますが、事業者から「指針は理解しているが、事業上の理由から容積率 199.5% で設計した」との説明がありました。

昭和 37 年(1962 年) 9 月に佐竹台から入居が始まった千里ニュータウンのみどり豊かでゆとりある素晴らしい住環境は、63 年たった今も立派に維持されており、これは行政と開発事業主がそれぞれの立場で、この住環境を維持していこうと努力してきたからこそその結果です。

もし万が一、「千里ニュータウンのまちづくり指針」に示された容積率を無視した開発が認められれば、今後、佐竹台におけるマンション開発だけにとどまらず、千里ニュータウンのほとんどのマンション開発において、指針を無視した開発が進むものと憂慮しております。これは指針を策定した吹田市と、それを遵守してきた過去すべての開発事業主の努力と行動を水泡に帰するものであることから、下記の事項を請願いたします。

記

当該事業に対し、「千里ニュータウンのまちづくり指針」に基づく容積率 150% を遵守するよう、吹田市より事業者に厳正な指導をお願いいたします。

請願書や陳情書の提出について

市民の皆さんは誰でも、市政に対する要望や意見を文書にして、市議会に提出することができます。(メールでも提出することができます。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。)

請願書(請願を紹介する 1 名以上の市議会議員の署名または記名押印が必要)が議会に提出されると、委員会に付託して慎重に審査します。本会議で最終的に採択(議会が請願の内容について賛意を示すこと)と決定した場合は、市長に送付し、次の定例会で、市長から請願の処理の経過および結果が報告されます。

また、陳情書は、その写しを全議員に速やかに配付し、内容の周知を図っています。



請願書(陳情書)
の出し方

書式例

(表紙 ※陳情書の場合は不要)	(内容)
〇〇〇に関する請願 紹介議員 (議員氏名)〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇	〇〇〇に関する請願(陳情) 吹田市議会議員 〇〇〇〇宛 〇年〇月〇日 請願者(陳情者) 住所 氏名 署名 又は 記名押印 (ほか 人) 《請願(陳情)の趣旨、理由》 _____ 下記の事項を請願(陳情)します。 記 1 _____ 2 _____

議会の舞台裏 —学びも応援も、吹田のために—

議会と聞くと、少し硬い印象を持つ方もいるかもしれません。でも実は、学び、交流し、時にはユニフォーム姿で地域を盛り上げるなど、さまざまな活動に取り組んでいます。

今回は、そんな「議会の舞台裏」を少しご紹介します。

Topic 01 議員研修会を開催 「ハラスメント研修～よりよい議会運営を目指して～」



講師：大阪弁護士会 加納 淳子弁護士



グループワークの様子

令和7年(2025年)4月1日から、「吹田市社会通念上相当な範囲を超えた言動による職員の被害の防止に関する条例」が施行されていることを踏まえ、昨年度に引き続き、大阪弁護士会所属の加納弁護士を講師にお招きし、今年度はグループワークを中心に、議員が理解しておくべき、さまざまなハラスメントについての研修会を実施しました。

Topic 02 議会もサポーター！本会議でユニフォームを着用しガンバ大阪を応援



9月定例会本会議初日の議場の様子



平成27年(2015年)9月定例会で「市を挙げてガンバ大阪の更なるホームタウン活動を推進する決議」を全員賛成で可決してから10年を迎えました。今後もガンバ大阪を応援し、ホームタウン活動のさらなる推進を願い、ガンバ大阪のユニフォームを着用して9月定例会初日の本会議に臨みました。

Topic 03 市政の発展のため、委員会行政視察を実施

他の自治体の先進事例を調査するため、常任委員会の行政視察を次のとおり実施しました。報告書については、市議会ホームページをご覧ください。



行政視察報告書

財政総務常任委員会 7月29日(火)～7月30日(水)

【広島県尾道市】

災害時における避難行動の促進に向けた取り組みについて



尾道市

【山口県山口市】

D X の推進に係る取り組みについて



山口市

文教市民常任委員会 7月23日(水)～7月24日(木)

【神奈川県鎌倉市】

学びの多様化学校(由比ガ浜中学校)について



鎌倉市

【東京都足立区】

足立区立郷土博物館の管理・運営について



足立区

健康福祉常任委員会 7月30日(水)～7月31日(木)

【東京都国分寺市】

重層的支援体制整備事業について



国分寺市

【埼玉県上尾市】

子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」について



上尾市

建設環境常任委員会 7月30日(水)～7月31日(木)

【東京都武蔵野市】

環境啓発について



武蔵野市

【静岡県磐田市】

衛星データを活用した水道管における漏水リスクの管理について



磐田市

議決結果

<全員賛成の議案および報告案件>

議案番号	案 件 名	議決結果
報 告		
報告第16号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
報告第17号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
報告第18号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
報告第19号	損害賠償額の決定に関する専決処分について	報告
報告第20号	令和6年度吹田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第21号	令和6年度吹田市公共用地先行取得特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第22号	令和6年度吹田市水道事業会計予算繰越計算書について	報告
報告第23号	令和6年度吹田市下水道事業会計予算繰越計算書について	報告
報告第24号	地方独立行政法人市立吹田市民病院の経営状況について	報告
報告第25号	地方独立行政法人市立吹田市民病院令和6年度の業務実績に関する評価結果の報告について	報告
報告第26号	地方独立行政法人市立吹田市民病院第3期中期目標期間の業務実績に関する見込み評価結果の報告について	報告
報告第27号	債権の放棄について	報告
報告第28号	令和6年度吹田市決算に係る地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率等に関する報告について	報告
条 例		
議案第74号	吹田市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第75号	吹田市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
予 算		
議案第83号	令和7年度吹田市一般会計補正予算(第2号) 修正議決した部分を除く部分	修正議決した 部分を除く 部分原案可決
議案第85号	令和7年度吹田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
決 算		
議案第86号	令和6年度吹田市水道事業会計剰余金の処分について	決 (継続審査)
議案第87号	令和6年度吹田市下水道事業会計剰余金の処分について	決 (継続審査)
認定第1号	令和6年度吹田市一般会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第2号	令和6年度吹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第3号	令和6年度吹田市部落有財産特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第4号	令和6年度吹田市勤労者福祉共済特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第5号	令和6年度吹田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第6号	令和6年度吹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第7号	令和6年度吹田市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第8号	令和6年度吹田市病院事業債管理特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第9号	令和6年度吹田市母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計歳入歳出決算認定について	決 (継続審査)
認定第10号	令和6年度吹田市水道事業会計決算認定について	決 (継続審査)
認定第11号	令和6年度吹田市下水道事業会計決算認定について	決 (継続審査)
その他の議案		
議案第76号	吹田市文化会館非常用発電設備及び直流電源装置更新工事請負契約の締結について	可決
議案第77号	吹田市資源循環エネルギーセンター基幹的設備機能回復工事請負契約の締結について	建 可決
議案第78号	吹田市吹田東地区公民館大規模改修及び昇降機設置工事(建築工事)請負契約の締結について	可決
議案第79号	吹田市立小・中学校屋内運動場空調設備整備事業契約の一部変更について	可決
議案第80号	(仮称)吹田市北消防署北千里出張所建設工事(建築工事)請負契約の一部変更について	可決
議案第81号	吹田市東消防署大規模改修及び昇降機設置工事(建築工事)請負契約の一部変更について	可決
議案第82号	災害用組立トランク型自動ラップ式トイレ等購入契約の締結について	可決
議案第84号	公用車の交通事故に係る損害賠償額の決定について	財 可決
請 願		
請願第1号	(仮称)吹田市佐竹台計画に関する請願	建 採択
議員提出議案等		
市会議案第15号	人権擁護委員の推薦に関する意見について	原案可決
市会議案第21号	大阪府が実施する万博記念公園駅周辺地区活性化事業について一体的な計画に基づく環境影響評価の実施等を求める決議	原案可決

<全員賛成以外の議案>

議案番号	案 件 名	議決結果
予 算		
議案第83号	修正案(橋本議員ほか2人提出分)*1	可決
議員提出議案		
市会議案第16号	外国人による国民健康保険料等の未払い対策の実施を求める意見書	原案可決
市会議案第17号	OTC類似薬を公的医療保険の適用除外とする方針を撤回するよう求める意見書	否決
市会議案第18号	生活保護基準の引下げ処分を取り消す最高裁判決を踏まえた補償等を求める意見書	否決
市会議案第19号	大阪・関西万博の海外パビリオン建設に係る工事代金未払い被害に遭った業者への早急な救済措置を求める意見書	否決
市会議案第20号	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書	否決
市会議案第22号	「議案第83号 令和7年度吹田市一般会計補正予算(第2号)」に対する附帯決議	原案可決

※案件名の後ろに記載している文字は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

財…財政総務常任委員会、建…建設環境常任委員会、予…予算常任委員会、決…決算常任委員会

*1 議案第83号の修正案は、原案に対し、債務負担行為補正のうち総合運動場指定管理業務の限度額を減額するものです。

賛否一覧表 全員賛成以外の議案について掲載しています。

	議決結果	大阪維新の会					日本共産党					公明党					自民党			吹田党		市民と歩立参					賛成	反対										
		後藤久美子	川田尚	江口礼四郎	清水亮佑	今西洋治	林恭広	橋本潤	乾註	高村将敏	井口直美	益田洋平	玉井美樹子	山根建人	村口久美子	竹村博之	塩見みゆき	柿原真生	浜川剛	井上真佐美	野田泰弘	小北一美	矢野伸一郎	澤田直己	白石透	有澤由真			藤木栄亮	泉井智弘	石川勝	後藤恭平	中西勇太	梶川文代	五十川有香	西岡友和	久保直子	
予 算																	議長につき、採決には加わっておりません。																					
【議案第83号に対する議員提出修正案】	可決	○										×						○					○			○		×			×		×		22	11		
議員提出議案																																						
市会議案第16号	原案可決	○										×						×					○			○		×			×		×		19	14		
市会議案第17号	否決	×										○						×					×			×		○			○		×		×		10	23
市会議案第18号	否決	×										○						×					×			×		○			○		×		×		10	23
市会議案第19号	否決	×										○						×					×			×		○			○		○		×		11	22
市会議案第20号	否決	×										○					×					×			×		○			○		×		×		10	23	
市会議案第22号	原案可決	○										×					○					○			○		×			×		×		×		22	11	

賛成者は○、反対者は×としています。

会派名：自民党＝自民党吹田・無所属の会、市民と歩＝市民と歩む議員の会、立＝立憲民主党、参＝参政党

決算常任委員会を開催しました

9月定例会で提出された令和6年(2024年)度の一般会計、特別会計および企業会計の決算認定などの議案について、定例会終了後の閉会中に決算常任委員会の財政総務、文教市民、健康福祉、建設環境の4つの分科会を開催して審査を行うとともに、分科会で取り上げられた事項について総括質疑を行いました。

審査の概要については、次回のすいた市議会だより(No.346新年号、令和8年(2026年)1月1日発行予定)をご覧ください。なお、詳細な内容は会議録をご覧ください。



総括質疑は議場で実施しました



議案審査の詳細な内容等は、本会議録や委員会記録(図書館等での閲覧のほか、市議会ホームページの会議録検索システムからでも閲覧可能)をご覧ください。

～意見書・決議～



議員が提出した議案等

次の意見書案1件および決議案2件を可決し、それぞれ政府等および市長に送付しました。
(可決した意見書および決議は、一部を要約して掲載しています。詳細は市議会ホームページをご覧ください)。

○外国人による国民健康保険料等の未払い対策の実施を求める意見書

- (1)外国人の国民健康保険料等の納付状況について、全国的な調査を行い、実態を明らかにすること。
- (2)未払いがある外国人に対し、在留資格や更新要件の厳格化などにより制度の実効性を確保すること。
- (3)国民健康保険への加入要件の見直しなどの未払い対策を検討すること。

○大阪府が実施する万博記念公園駅前周辺地区活性化事業について一体的な計画に基づく

環境影響評価の実施等を求める決議

- (1)地域住民の意見に寄り添った一体的な計画を早期に示したうえで環境影響評価の手続きをとるよう、本市が事業者や大阪府と協議の場を持ち、働きかけること。
- (2)事業者や大阪府が地域住民への説明責任を十分に果たすよう、本市としても努めること。

○「議案第83号 令和7年度吹田市一般会計補正予算(第2号)」に対する附帯決議

- (1)吹田市介護老人保健施設事業団に対し、人件費等の削減に加え、役員報酬や退職金の見直しを含む経営努力の徹底を求めること。
- (2)同事業団に対し、財務状況の改善を図るよう求めること。
- (3)今後の同事業団の存置を含めた在り方に係る計画を早急に策定し、速やかに実行に移すこと。

議 会 日 誌

5月定例会閉会後の主な議会活動

開催した会議		
8月	6日	議会広報委員会
	22日	議会運営委員会
	27日	議会運営委員会
9月	3日	本会議、議会運営委員会
	10日	本会議、議会運営委員会
	11日	本会議
	12日	本会議、議会運営委員会
	16日	本会議、 常任委員会 (財政総務、建設環境、予算)
	17日	財政総務常任委員会、 予算常任委員会分科会 (財政総務、文教市民)
	19日	建設環境常任委員会、 予算常任委員会分科会 (健康福祉、建設環境)
	25日	予算常任委員会
	29日	議会運営委員会
10月	1日	本会議、決算常任委員会

令和7年(2025年)11月定例会日程

11月定例会を11月26日(水)から12月22日(月)までの会期で開催しています。
なお、日程は予定であり、変更されることがあるほか、以下の日程以外にも委員会等を開催する場合がありますのでご了承ください。本会議および常任委員会は、原則10時開会予定でいずれも公開しています。傍聴を希望される場合は、あらかじめ市議会ホームページ等でご確認ください。

11月26日(水) 本会議(提案説明)	9日(火) 財政総務常任委員会
12月 3日(水) 本会議(質問)	予算常任委員会財政総務分科会
4日(木) 本会議(質問)	文教市民常任委員会
5日(金) 本会議(質問)	予算常任委員会文教市民分科会
8日(月) 本会議(質問)	11日(木) 健康福祉常任委員会
予算・4常任委員会 (提案説明、資料要求)	予算常任委員会健康福祉分科会
	建設環境常任委員会
	予算常任委員会建設環境分科会
	16日(火) 予算常任委員会(討論・採決)
	22日(月) 本会議(討論・採決)

※4常任委員会：財政総務、文教市民、健康福祉、建設環境常任委員会
※本会議の各質問日の質問者・項目を事前に市議会ホームページに掲載予定です。
※本会議での保育付き傍聴(11月26日の提案説明を除く)や手話通訳者の派遣を実施していますので、希望される方は事前に議会事務局までご連絡ください。
(電話 06-6384-2644 FAX 06-6338-0920)